



# おーい！くじらぐも

Vol.4 2021年（令和3年）10月号

発行人：社会福祉法人健翔会 くじらぐも

所在地：埼玉県行田市小見1141番地1

TEL：048-580-3634 FAX：048-554-8814

MAIL：kujiragumo@kenshokai.net

発行責任者：くじらぐも センター長 細川竜太

福祉サービスを利用するためには「くじらぐも」が作る『サービス等利用計画』が必要です。

「くじらぐも」は障害者総合支援法により、障害者・障害児に対し相談支援事業を提供する健翔会の第4号事業所です。

福祉サービスの利用はご利用者主体で！くじらぐもは、一番大切にしているニーズに沿って対応します。



興味のあるものを活動に生かします。



職員と一緒にできることを探し伸ばします。



療育でこのような遊具を使う事業所もあります。

『児童発達支援ってな～に？ 目的別のプログラム編』  
児童発達支援のプログラムは事業所により異なります。主にグループ別と個別を組み合わせることが多いです。

### ①ことば

声掛けなどで本人の思いを引き出す支援を行います。言語聴覚士（ST）の専門的な指導を受けられる事業所もあります。

### ②日常動作

食事・トイレなど生活に必要な練習、トレーニングを行います。

### ③運動

遊びを通して運動機能の発達を促します。

### ④コミュニケーション

集団でプログラムを行い、自由遊びなどを通して他者と上手に関わる方法を学びます。

### ⑤家族支援

親子が離れて過ごす「母子分離」という体験も含め、他の障害特性のある子供とその親子で悩みや心配事を共有する時間も貴重な支援となります。

このほか、作業・理学療法士によるリハビリ的な指導など特色のある療育を行っている事業所もあります。

### <10月のトピックス>

他事業所の見学で、それぞれの事業所の考えや悩みがわかってきました。例えば、A事業所は送迎を行いません。理由は公共交通機関の使い方を学んでほしいと願っているからです。送迎を行うことでその手段・機会を奪ってしまうという考え方です。一方、B事業所は玄関の前までお迎えに行きます。理由は家族の負担を減らしたいという考え方です。ここで大切なことは、本人・家族がどちらの事業所が良いか「選べる」ということです。現在の福祉サービスは利用者が選べるというシステムの上に成り立っています。これにより、ニーズに照らし合わせて事業所を選びますが、本人・家族もここだけは譲れないということもあるでしょう。そんなときは、お互いに妥協点を探します。お互いが気持ちよく納得した上で、利用の開始に結び付けられるよう、くじらぐもがお手伝いいたしますので、お気軽にご連絡ください。